

2/16 世代を超えて交流 チャリティ岩城 三世代交流会

2月16日（土）、岩城総合支所において、文化協会岩城支部舞踊部と邦楽部による協同主催、くるしま会、老友会、寿会の協賛による「チャリティ岩城三世代交流会」が開催されました。

今年もすばらしい舞踊や邦楽とともに、保育園児や小学生の元気な

踊り、中学生の歌声で会場がひとつになりました。また、今年も岩城診療所 福井康太郎先生による有意義な講演もあり、すばらしい交流会となりました。



なお来場者からご協力いただきました募金43,666円は、岩城小学校の活動費の一部として全額寄付させていただきました。来場者の皆様、ご協力ありがとうございました。



★ 厚生労働大臣表彰受賞 上島町民生児童委員協議会

このほど、上島町民生児童委員協議会が優良活動団体として功績を認められ、平成30年度社会福祉功労者厚生労働大臣表彰を受賞されました。

これは上島町民生児童委員協議会が役場、学校、社会福祉協議会と連携・協力しながら、高齢者の安否確認、相談活動を行い、登下校の児童を見守るなど、地域に根差した幅広い活動を継続して行っていることが評価されたものです。

今後も民生児童委員の皆さまのますますのご活躍を期待しております。



3/2 将来に備え 高い関心 認知症講演会



3月2日（土）、せとうち交流館にて、町と医療法人社団秦医院との共催で認知症講演会を開催しました。講演会では、「認知症の診断と介護のスキルについて」と題し、仁泉会病院脳神経外科の堀部邦夫医師にご講演いただきました。

講演会の冒頭、認知症サポート医でもある秦信輔医師からご挨拶いただき、堀部医師からは、認知症の種類や診断、症状などについて詳しくお話していただきました。また、治療ができる認知症や実際

の介護の様子などもお話いただき、「誰にでも起こりうる」身近な病気である認知症について学ぶことができました。

今回の講演会には、たくさんの方にご参加いただき、認知症に対する関心の高さが伺えました。今後も上島町では、認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせる町づくりに取り組んでいきます。



★ いぎす豆腐を食べたよ！ 学校給食で地産地消を推進



先ごろ、上島町の郷土料理「いぎす豆腐」が弓削給食センターの給食で提供されました。同センターでは、11月に引き続き2回目、前回の具なしよりも、今回の具入りの方が食べやすく、おいしいとの声が多かったようです。各家庭で具材もいろいろですが、受け継いでほしい島の味です。



2/14 「弓削のり」の秘密学ぶ 弓削小・生名小3年生のふるさと学習



2月14日（木）、弓削小と生名小の3年生が、弓削漁業協同組合の方の案内で、「弓削のり」加工場を訪れました。上島町特産品の1つ、「のり」。県内でも弓削地区は、有数ののり産地となっています。その地元特産品がどのように作られているのか、児童たちは製造工程や加工作業に興味深く見学し、その後、大谷地区からのりの養殖場を見学しました。そして最後の質問タイムでは、「何年前から作っているか」「味や形を崩さない工夫は」などを質問し、熱心にノートに書きとめていました。



工程の説明を熱心に聞く児童



豊島、魚島群島方面を望む

2/17 ゆめしま未来塾が 県知事賞を受賞！ ふるさとCM大賞えひめ

2月17日（日）、松山市総合コミュニティセンターにおいて、愛媛朝日テレビ（eat）主催の「ふるさとCM大賞えひめ'19」の審査会が行われました。

今年は、県内20市町から25作品の応募があり、上島町からはゆめしま未来塾（弓削高校公営塾）が制作した「上島町の声」を出品し、審査の結果、見事愛媛県知事賞を受賞しました。

この審査会の模様は3月30日に放送され、その後、4月から愛媛朝日テレビにおいて受賞CMが年間100回放送されます。



中村知事より表彰を受ける中裏塾長